銚子の魅力を 発信するちょ

第49回

思い出のヤキソバを自力で再現 萩原 里枝子さんの巻

屋兼居酒屋というスタイル、看板メニューの誕生秘話を聞いたちょ。 今夏イベントで飲食店人気第-位に輝いた店の店主を直撃!駄菓子

る日々だったが「一生のうち一度は えた。結婚以来家事と育児に追われ 頭に16歳、10歳、9歳の4人の子ど 感じが好きなんです」 「駄菓子屋をやりたかった。昭和の 自分で事業をしたい」と一念発起。 もの名前の頭文字を語呂よく並び替 開店して6年目。店名は22歳を筆

定メニュー「親子焼きそば」を販売 MARKET」に出店。イベント限 るイベント ITONE RIVER

目が気になった自身の経験から。「子 居酒屋を兼ねたのは子育て中に人

なんて良心的!昔ながらのさっぱり味だちょ~ 看板メニューの焼きそばは300円、大盛400円 層の需要を見誤って弁当を全部廃棄

したこともある。 それでも出店する

みはほとんど賭け。

会場の動線や客

天候に左右されるイベントの仕込

きたかいがあったねって喜んでくれ のは「銚子を盛り上げたい」から。 はあったかい人ばっかり」 たことが一番のごほうび。私の周り 「従業員のみんなが今までやって

さんもいたほど。忙しすぎて優勝発 回並んでやっと買えたっていうお客

「作っても作っても売り切れて4

表のアナウンスにも気が付かなかっ

駄菓子兼居酒屋「ユノリリ」の店主だ。

9月の市内飲食店30店以上が集ま

た」と語るのは萩原里枝子さん(4)。

こともあるが、店ではお客さんに遊 子どもたちには寂しい思いをさせる のに気づけば同じ道に進んでいた。 て行ってもらえず自営業は嫌だった ども時代は忙しい両親に遊びに連れ はできない経験ができてるかなって 「うちの子どもたちはよその家庭で 遊び相手になったり毎日楽しそう。 んでもらったりお客さんの子どもの 実家はさかい餃子店(後飯町)。子

看板メニューは焼きそば。中学生

ども連れでもお酒が飲める」と子育

かれる人柄を尊敬しています。 まま。萩原さんの働き者ぶりに夫良 ツだけなのも、値段もそっくりその きをもらった。具がひき肉とキャベ のとき学校帰りにいつも食べていた 占の味を、記憶を頼りに再現。当時 に向いてる」と舌を巻く。 さん(43)は「努力家で誰からも好 緒に食べていた友だちにもお墨付 商売

今では思ってます」

銚子郵便局と若宮八幡神社の間の通り

萩原里枝子さん(左)と従業員の皆さん。店は

▲親子焼きそば。12月からはお店でも食べ られます。

ノリリ

三軒町7-8 ☎(21)3565 ④11時30分~22時(水曜日 15時~) 定休日 火曜日



令和元年11月1日現在 人口 60,460人(-89人) **うち外国人住民人口** 2,227人